

## 子育て・孫育て応援 多世代・創造的遊びを実践する事業

### 取組に至る背景・事業の目的

子ども達が携帯ゲームやテレビなどの影響により、集団遊びや自分の力で考えて遊ぶ力が乏しくなっていることに危機感を抱く親や祖父母の悩みの解決のため、子どもたちに健全で創造的な遊びを提供するとともに、高齢者世代も昔ながらの遊びや技術を教える喜びを味わいながら、多世代が交流できる場を提供していくことを目的とする。

### 事業内容

- 森のおもちゃ館  
良質な木のおもちゃで遊んでもらう場を提供
- おもちゃの病院  
おもちゃの無償修理を実施
- 手づくり遊び工房  
毎週さまざまな工作や料理体験の場を提供
- 出張わらべ館  
良質な木のおもちゃで遊べる場の出張サービス

上記の事業を、松本市アルプス公園や松本市美術館を会場に年間合計 44 回開催した。



【竹とんぼ作り体験の様子】

### 事業効果

地域の方々に「創造的なあそび」「子育て・孫育ての楽しみ」「昔ながらの素晴らしい技を教えるよこび生きがい・教わる楽しさ」を多くの方に提供することができた。

- 参加者人数 年間約 1,500 名
- 参加者地域 松本市・塩尻市・安曇野市・岡谷市・諏訪市・山形村・朝日村・駒ヶ根市など中南信一円の地域や東京・神奈川・栃木など他県からの帰省者、東日本大震災による移住者、関西からのちびっ子団体客など
- 参加者年齢 0 歳～70 歳代のお子さん連れやお孫さん連れの家族
- 講師年齢 30 歳代から 82 歳まで幅広く世代の方に御協力いただいた。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

経済的自立を加速させる取組を加えながら上記事業を継続実施し、市民のみなさんに親しまれる場づくりを目指す。現在は市の施設（アルプス公園内建物・松本市美術館）を有償で借りて活動していますが、できれば拠点を設け 1 か所にて定着して活動できるよう、場所と資金の目途をつけるべく準備を進めていく。

#### 【選定のポイント】

アルプス公園などにおいて年間 44 回の開催により、松本地域だけでなく中南信を中心に広範囲から多くの参加者があり、子どもたちに健全で創造的な遊びの提供がなされた。また、乳児からお年寄りまで幅広い世代の参加により、「子育て・孫育ての楽しみ」「昔ながらの技術を教える喜び、教わる楽しさ」を体験できる場となった点が評価でき、今後も地域に親しまれる取組となることが期待できる。

団体名 松本わらべ館設立準備室（松本市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 090-8854-3935（赤沼）	事業費	339,576円
ホームページ <a href="http://ameblo.jp/warabekan/">http://ameblo.jp/warabekan/</a>	支援金額	170,000円